

【NEWS RELEASE】

2020年11月30日

各位

株式会社三井住友銀行

株式会社公文教育研究会の「SDGs推進私募債」買受けについて

株式会社三井住友銀行（頭取 CEO：高島 誠）は、株式会社公文教育研究会（代表取締役社長：池上 秀徳）の発行する「SDGs推進私募債」を買受けいたしました。

「SDGs推進私募債」は、私募債買受け時に、株式会社三井住友銀行と株式会社日本総合研究所（代表取締役社長：谷崎 勝教）が、企業のSDGs（※）に関する現状の取組状況を確認した上で、本業を通じたSDGs貢献への道筋（ロジック）を分析し、SDGsの取組推進に向けたアドバイス等をご提供する商品です。

今回対象となりました、株式会社公文教育研究会については、以下に記す事業を通じて、SDGsの目標達成に向けた貢献が期待できると判断されました。

① 特別なニーズのある人に対応する教育サービスの提供

目標 4 質の高い教育を みんなに	ターゲット 4.5 2030年までに、教育におけるジェンダー格差を無くし、障害者、先住民及び脆弱な立場にある子供など、脆弱層があらゆるレベルの教育や職業訓練に平等にアクセスできるようにする。
目標 8 働きがいも 経済成長も	ターゲット 8.6 2020年までに、就労、就学及び職業訓練のいずれも行っていない若者の割合を大幅に減らす。

② 開発途上国向けの学習機会の提供・指導者養成

目標 4 質の高い教育を みんなに	ターゲット 4.6 2030年までに、全ての若者及び大多数（男女ともに）の成人が、読み書き能力及び基本的計算能力を身に付けられるようにする。
	ターゲット 4.7 2030年までに、持続可能な開発のための教育及び持続可能なライフスタイル、人権、男女の平等、平和及び非暴力的文化の推進、グローバル・シチズンシップ、文化多様性と文化の持続可能な開発への貢献の理解の教育を通して、全ての学習者が、持続可能な開発を促進するために必要な知識及び技能を習得できるようにする。

<p>目標 17 パートナーシップで 目標を達成しよう</p>	<p>ターゲット 17.17 さまざまなパートナーシップの経験や資源 戦略を基にした、効果的な公的、官民、市民社会のパートナーシップ を奨励・推進する。</p>
---	---

三井住友銀行では、「SDGs 推進私募債」により、本業を通じ、SDGs が達成される社会の実現に貢献をしております。



Bangladesh
 BRAC スクール
 でのパイロット
 導入



高齢者向けの学習療法



南アフリカの公文式教室

※ SDGs とは

Sustainable Development Goals (持続可能な開発目標) の略称。国連総会で採択された、新興国だけでなく先進国等あらゆる国と地域が、貧困や平等、教育、環境等、「誰も取り残されない世界」の実現を 2030 年までに目指す 17 の目標と 169 のターゲットのことです。

以 上

<p>このニュースリリースは、投資や勧誘を推奨することを目的としたものではありません。</p>
